

先週のクリスマス礼拝メッセージ(2022年12月25日) ベン牧師

「あなたのために」 コリントの信徒への手紙二 8:9

「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」

イエス様に貧しさのゆえに、私たちは豊かになる、なんと素晴らしいことでしょう。もちろん、この豊かさとは金銭的に金持ちになるということではありません。

多くの方は、世の中にはお金で買えないものがあり、その方が私たちにとって大切なものであるということは常識として知っています。しかし実際にお金がないとなると、自分は不幸だと感じる人も多くいます。確かに、経済的困窮のために苦しんでいる人々がいます。体や心に病や傷を持っていて、苦しんでいる人々もいます。

目を世界に転じれば、日本などとは比べ物にならないくらいの貧しさに中に多くの人々は置かれています。

聖書にダビデという人が出てきますが、彼はこのように歌っています。

「主は私の羊飼い。私は乏しいことがない。」(詩篇 23:1 共同訳)

彼は王様だから、乏しいことがないのは当たり前だと思われるのでしょうか？ いいえ、彼は王位に就く前に、また王になった後も、命を狙われ、荒野を逃げ回っていた時期がありました。当然のことながら、乏しい生活をしてはいたはずですが、しかし彼は、「私は乏しいことがない」と歌えたのです。23編を続けて読んでいくと、「たとえ死の陰の谷を歩むとも、私は災いを恐れない。あなたは私と共におられ、あなたの鞭と杖が私を慰める。」と歌っています。

彼はなぜ、乏しいことがないと言えたのか、災いを恐れないと言えたのか、それは、どんなに苦しい時でも、乏しいと思われる時でも、主が彼と共にいるということ、ダビデは知っていたからなのです。

先程、世界には多くの飢えや戦争などで苦しんでいる人がいると言いました。彼らからしてみると、日本の最も貧しいと思われる人でも、お金持ちなのです。スイッチを入れれば電気が使え、蛇口からいくらでも水もお

湯も出る、一家に一台車があるなんて、夢のまた夢です。では、そんな日本で暮らしている人が、その中でも裕福と思える人たちが、皆自分たちは幸せだと思っているかということそうではありません。経済的に豊かでも、自分は豊かな人生を送っていると思っている人は少ないのです。それどころか自分は不幸だと思っている人がどれほど多くいることでしょう。

聖書はその原因が、私たちの心にある罪のためだと言っています。私たちが、自分の周りのもので自分の幸せを獲得しようとするから、罪はあふれていくのです。欲望には満足するということがありません。たとえ欲しいものを手に入れても、またその次に欲しいものが出てくるからです。そのようにして人々は貪り、傷つけ、争うのです。この罪によって、多くの人が自分は幸せでないと言うのです。

イエス様は、私たちの罪の問題を解決するためにこの世に来てくださいました。

イエス様の救いは実に逆説的です。イエス様が貧しくなられたので、私たちは豊かになった。イエス様が命を捨ててくださったので、私たちは命を得ることができた。イエス様が父なる神との関係を絶たれてくださったので、私たちは神との関係を修復できた。イエス様が罪人の1人として数えられたので、私たちの罪は赦された。

イエス様がしてくださったことは、私たちが良きものを受け取るために、不幸の原因となるものを受けてくださったのです。それは誰のためでしたか？ そうです。私たちのためです、全ての栄光、権威、富を捨てて、イエス様はこの世に来てくださいました。それも、貧しい夫婦の間に生まれて、飼い葉桶に寝かされたのです。本来なら王の王であられるお方は、王宮のゆりかごに寝かせられるのが当然なのにです。

これらのことも、イエス様が貧しくなられたということ、私たちが理解できるようにとの神様のご計画でした。

そしてイエス様を信じ受け入れるだけで、私たちは罪赦され、神の子とされ、永遠の命を持ち、本当の豊かさを得る者とされるのです。私たちのために貧しくなられ、私たちに豊かにしてくださる主の恵みを、感謝して受け取ろうではありませんか。

